

御礼状

謹啓

早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年四月に発生いたしました熊本地震に際しましては、心温まるお見舞いや、生協くまもとの事業継続・復旧活動と、被災地支援活動に、様々なご支援を賜り心より御礼申し上げます。皆様のご支援により、生協くまもとは大災害の中にあつて、なんとか事業を継続することができ、当初の想定よりも早く事業を復旧させることができました。

また、被災地支援活動におきましても、震災直後からの緊急募金活動及び救助物資支援とその配送に始まり、その後は、避難所での炊き出し、高齢者及び障がい者への介護支援、健康チェック・健康相談会の開催、避難所から仮設住宅への引越支援、共済のお見舞い訪問活動、災害ボランティアセンターの運営支援、仮設団地でのサロン活動等々、被災地のニーズが刻々と変化する中、被災者に寄り添った心のこもったご支援を賜りました。そのどれをとりましても、私達だけでは到底成し得ないものばかりでした。重ねて感謝と御礼を申し上げます。

私たちは、全国の生協の皆様のご支援に支えられながら取り組んだ、この度の熊本地震災害への様々な対応を通して、生協の持つ協同と連帯の力及び、物販だけにとどまらない生協の多面的機能と役割を実感し、助け合いの組織としての生協運動への確信を持つことができました。本当にありがとうございます。

さて、熊本地震発生からまもなく一年が経とうとしています。熊本県では、今なお四万人を超える方々が、応急仮設住宅や、みなし仮設住宅等での「仮住まい」を余儀なくされています。生協くまもとは、微力ながら、組員と役職員が一体となって、仮設団地でのサロン活動を中心に、被災された方々のくらしに寄り添う支援を継続してまいります。

本来なら、ご支援いただいた皆様を訪問し、直に御礼を申し上げるべきところではございますが、書面での御礼になりましたことをお許しください。

最後に、これまでのご支援に感謝し、今後とも被災した熊本県民と熊本の復興、そして、私たちの被災地支援活動をお見守りいただきますようお願い申し上げます。

謹白

平成二十九年三月

生活協同組合くまもと 代表理事理事長

吉永 章

この度、全国の生協の皆様のご支援によって、生協くまもとが取り組んだ熊本地震災害への対応を一冊の記録誌としてまとめました。お送りさせていただきますので、ご覧いただければ幸いです。